

2021年5月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年9月28日

上場会社名 株式会社大光

上場取引所 東

 コード番号 3160 URL <http://www.oomitsu.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 金森 武

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長兼総務部長 (氏名) 秋山 大介 TEL 0584-89-7777

四半期報告書提出予定日 2020年10月15日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年5月期第1四半期の連結業績(2020年6月1日～2020年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年5月期第1四半期	13,546	14.8	95		43		518	
2020年5月期第1四半期	15,905	3.4	17		3		14	

(注) 包括利益 2021年5月期第1四半期 347百万円 (%) 2020年5月期第1四半期 21百万円 (55.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年5月期第1四半期	39.12	
2020年5月期第1四半期	1.08	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年5月期第1四半期	16,590	4,360	26.3	329.06
2020年5月期	16,565	4,766	28.8	359.75

(参考) 自己資本 2021年5月期第1四半期 4,360百万円 2020年5月期 4,766百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年5月期		4.50		4.50	9.00
2021年5月期					
2021年5月期(予想)		4.50		4.50	9.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年5月期の連結業績予想(2020年6月1日～2021年5月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	26,400	16.4	221		195		630		47.54
通期	56,000	7.7	100	75.0	150	68.3	405		30.56

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

連結業績予想の修正については、本日(2020年9月28日)公表いたしました「特別損失の計上及び業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年5月期1Q	13,450,800 株	2020年5月期	13,450,800 株
期末自己株式数	2021年5月期1Q	200,012 株	2020年5月期	200,012 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年5月期1Q	13,250,788 株	2020年5月期1Q	13,250,788 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、企業収益や個人消費が減少するなど、景気の先行きは不透明な状況が続いております。

当社グループの主要販売先である外食産業におきましては、新型コロナウイルス感染拡大防止に向けた休業要請や外出自粛等により来客数が減少するなど、厳しい経営環境が継続しております。

このような環境のなか、当社グループはお客様や従業員の安全を第一に感染症対策を徹底するとともに、食を支える企業として安心・安全な商品提供に努めております。業務用食品等の卸売事業である「外商事業」においては、既存得意先との深耕を図るとともに、多様な外食産業に対する新規開拓に注力してまいりました。また、業務用食品等の小売事業である「アマカ事業」においては、品揃えの充実化や営業活動の強化など、来店客数の増加に向けた取り組みを進めてまいりました。

両事業におきましては、収益性の向上を図るため、当社プライベートブランド商品や業務用食品販売事業者の共同オリジナルブランド商品の販売強化と全社的な業務の効率化を継続して行っております。

さらに、水産品の卸売事業である「水産品事業」では、連結子会社である株式会社マリンドリカにおいて、既存得意先との深耕を図るとともに、新規得意先の開拓など販路の拡大に取り組んでまいりました。

しかしながら、新型コロナウイルス感染症の拡大は、当社グループの主要販売先である外食産業の経営環境の悪化を招き、当社グループにおきましても外商事業を中心に、厳しい事業運営を強いられました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は135億46百万円（前年同期比14.8%減）、営業損失は95百万円（前年同期は営業損失17百万円）、経常損失は43百万円（前年同期は経常損失3百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は投資有価証券評価損を特別損失に計上したこと等から5億18百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失14百万円）となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

(外商事業)

当事業におきましては、既存得意先との深耕を図るとともに、居酒屋やレストラン等の外食業態から給食、病院、中食業態など多様な外食産業に対する新規開拓に注力してまいりました。また、提案型営業を強化するため商品知識の向上に取り組むほか、業務の効率化による人件費の削減や物流費をはじめとした経費の抑制に取り組み、収益性の向上を図ってまいりました。

しかしながら、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、得意先における営業時間の短縮や外出自粛による来店客数の減少などから、当事業の売上が減少しました。

この結果、外商事業の売上高は81億28百万円（前年同期比22.8%減）、営業損失は2億13百万円（前年同期は営業損失93百万円）となりました。

(アマカ事業)

当事業におきましては、それぞれの店舗において、メーカーフェア等の販売施策の展開や、近隣飲食店等への営業活動に注力するとともに、家庭内消費に適したアイテム拡充など顧客目線に立った店舗運営に取り組み、来店客数が増加し売上が伸長しております。

この結果、アマカ事業の売上高は50億50百万円（前年同期比3.0%増）、営業利益は3億76百万円（前年同期比14.6%増）となりました。

なお、当第1四半期連結会計期間末の店舗数は、愛知県・岐阜県を中心として46店舗であります。

(水産品事業)

当事業におきましては、連結子会社である株式会社マリンドリカにおいて、大手水産会社をはじめとする既存得意先との深耕を図るとともに、海外を含めた新規得意先の開拓など、国内外への販路拡大に努めてまいりました。また、採算管理の徹底や経費抑制に取り組み収益改善に努めるとともに、外商事業及びアマカ事業と連携し当社グループの水産品ラインナップ強化を推進してまいりました。

しかしながら、外商事業と同様に新型コロナウイルス感染拡大に伴い、当事業の売上が減少しました。

この結果、水産品事業の売上高は3億94百万円（前年同期比20.3%減）、営業損失は13百万円（前年同期は営業利益9百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末の資産残高につきましては、前連結会計年度末と比較して現金及び預金が1億22百万円、商品が4億23百万円減少したものの、受取手形及び売掛金が9億24百万円増加したこと等により、流動資産は全体で2億68百万円増加しました。一方固定資産は、投資有価証券が1億20百万円減少したこと等により、全体で2億43百万円減少しました。その結果、資産総額は、前連結会計年度末と比較して25百万円増加し、165億90百万円となりました。

(負債)

負債残高につきましては、前連結会計年度末と比較して短期借入金が1億40百万円減少したものの、支払手形及び買掛金が10億33百万円増加したこと等により、流動負債が全体で6億6百万円増加しました。一方固定負債は、長期借入金が1億75百万円減少したこと等により、全体で1億74百万円減少しました。その結果、負債総額は、前連結会計年度末と比較して4億31百万円増加し、122億30百万円となりました。

(純資産)

純資産残高につきましては、前連結会計年度末と比較して4億6百万円減少し、43億60百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年5月期の連結業績予想につきましては、2020年7月13日に公表いたしました業績予想を修正しておりません。詳細は、本日別途公表の「特別損失の計上及び業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年5月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	419,140	296,409
受取手形及び売掛金	3,253,651	4,178,593
有価証券	97,835	100,260
商品	4,025,036	3,602,008
貯蔵品	43,111	43,989
その他	1,169,220	1,055,720
貸倒引当金	△1,980	△2,060
流動資産合計	9,006,015	9,274,922
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,171,663	3,124,433
その他(純額)	1,261,259	1,362,000
有形固定資産合計	4,432,923	4,486,434
無形固定資産	39,187	37,398
投資その他の資産		
投資有価証券	1,197,329	1,076,891
その他	2,361,347	2,186,371
貸倒引当金	△471,641	△471,641
投資その他の資産合計	3,087,035	2,791,620
固定資産合計	7,559,146	7,315,453
資産合計	16,565,162	16,590,375

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2020年5月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年8月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,284,668	5,317,977
短期借入金	1,859,000	1,718,500
1年内返済予定の長期借入金	916,435	818,504
未払法人税等	110,204	16,881
賞与引当金	217,455	110,047
ポイント引当金	21,513	18,623
その他	1,021,010	1,036,259
流動負債合計	8,430,287	9,036,793
固定負債		
長期借入金	1,732,492	1,557,385
役員退職慰労引当金	261,517	267,490
退職給付に係る負債	392,895	400,353
資産除去債務	455,420	457,001
その他	525,621	511,090
固定負債合計	3,367,947	3,193,320
負債合計	11,798,234	12,230,114
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,076,372	1,076,372
資本剰余金	980,171	980,171
利益剰余金	2,830,184	2,252,239
自己株式	△33,904	△33,904
株主資本合計	4,852,824	4,274,878
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△91,358	79,598
繰延ヘッジ損益	423	561
退職給付に係る調整累計額	5,038	5,223
その他の包括利益累計額合計	△85,897	85,382
純資産合計	4,766,927	4,360,261
負債純資産合計	16,565,162	16,590,375

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年6月1日 至 2019年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年6月1日 至 2020年8月31日)
売上高	15,905,176	13,546,651
売上原価	12,990,269	10,851,999
売上総利益	2,914,906	2,694,652
販売費及び一般管理費	2,932,904	2,790,483
営業損失(△)	△17,997	△95,831
営業外収益		
受取利息	3,019	3,217
受取配当金	1,477	3,263
受取賃貸料	22,989	22,086
受取手数料	5,664	5,307
助成金収入	—	40,306
その他	7,289	5,286
営業外収益合計	40,441	79,468
営業外費用		
支払利息	6,010	5,660
賃貸費用	17,934	17,318
固定資産除売却損	414	3,064
その他	1,237	680
営業外費用合計	25,597	26,725
経常損失(△)	△3,153	△43,087
特別損失		
投資有価証券評価損	—	365,367
特別損失合計	—	365,367
税金等調整前四半期純損失(△)	△3,153	△408,454
法人税、住民税及び事業税	9,445	7,848
法人税等調整額	1,649	102,013
法人税等合計	11,094	109,862
四半期純損失(△)	△14,248	△518,316
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△14,248	△518,316

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年6月1日 至 2019年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年6月1日 至 2020年8月31日)
四半期純損失 (△)	△14,248	△518,316
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	35,283	170,957
繰延ヘッジ損益	249	137
退職給付に係る調整額	653	185
その他の包括利益合計	36,186	171,280
四半期包括利益	21,938	△347,036
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	21,938	△347,036
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

前連結会計年度の有価証券報告書の(追加情報)(新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う会計上の見積り)に記載した新型コロナウイルス感染症の今後の広がり方や収束時期等を含む仮定について重要な変更はありません。

なお、現時点における業績の状況等を踏まえ検討を行った結果、繰延税金資産の回収可能性について見直しを行っております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2019年6月1日 至2019年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	外商事業	アミカ事業	水産品事業	合計			
売上高							
外部顧客への売上高	10,535,955	4,901,070	463,438	15,900,464	4,711	—	15,905,176
セグメント間の内部売上高又は振替高	409	4,690	31,283	36,383	—	△36,383	—
計	10,536,364	4,905,761	494,721	15,936,848	4,711	△36,383	15,905,176
セグメント利益又は損失(△)	△93,041	328,629	9,058	244,646	1,892	△264,536	△17,997

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、太陽光発電事業を含んでおりません。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△264,536千円は、当社の本社経費等であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
重要な事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自2020年6月1日 至2020年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	外商事業	アミカ事業	水産品事業	合計			
売上高							
外部顧客への売上高	8,128,296	5,047,717	366,056	13,542,069	4,581	—	13,546,651
セグメント間の内部売上高又は振替高	702	3,212	28,428	32,344	—	△32,344	—
計	8,128,999	5,050,929	394,485	13,574,414	4,581	△32,344	13,546,651
セグメント利益又は損失(△)	△213,157	376,637	△13,570	149,909	2,055	△247,796	△95,831

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、太陽光発電事業を含んでおりません。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△247,796千円は、当社の本社経費等であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
重要な事項はありません。